

伊豆急グループは、「ワーケーション(リゾート地でのテレワーク)」を通じた、 伊豆エリアの地域活性化に取り組みます

伊豆高原駅にサテライトシェアオフィスを開設し、伊豆エリアでのワーケーション推進イベントを実施します

伊豆急ホールディングス株式会社
伊豆急行株式会社
株式会社東急シェアリング
東京急行電鉄株式会社

伊豆急ホールディングス株式会社(以下、伊豆急ホールディングス)、伊豆急行株式会社(以下、伊豆急行)をはじめとする伊豆急グループ各社は、東京急行電鉄株式会社(以下、東急電鉄)と連携し、リゾート地におけるテレワーク「ワーケーション」を通じた、伊豆エリアの地域活性化を目的に、7月17日(水)から、伊豆急行線伊豆高原駅にサテライトシェアオフィス「VacationOffice 伊豆高原駅」を開設するほか、「テレワークde伊豆」として、伊豆急行線沿線でのワーケーションを推進する取り組みを実施していきます。

なお、本取り組みは、総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、内閣官房、内閣府が国民運動として展開する「テレワークデイズ2019」に賛同し、実施するものです。

伊豆急グループは、「伊豆で働く」をテーマに、地域と連携をした働く環境づくりなど、さまざまな取り組みを通じて、将来的な伊豆エリアの定住人口の拡大を目指しています。

「VacationOffice 伊豆高原駅」は、伊豆高原駅直結の商業施設「伊豆高原やまもプラザ」内に位置している、個室8席、会議室1部屋(6席)のサテライトシェアオフィスです。Wi-Fiのほかコンセントも完備しており、3時間1人500円で利用することができます(3時間超は1人1,000円)。東急電鉄が運営するサテライトシェアオフィス「NewWork」と提携し、同施設の会員は提携料金で利用することができます。出張中のオフィスワーカーやフリーランスの方だけでなく、地域にお住まいの方もターゲットとしています。

また、伊豆急グループは、「テレワークde伊豆」と称して、伊豆急行線沿線の各市町、観光協会・旅館組合のほか、ワークスペース事業者などと協力しながら、「テレワークデイズ2019」期間に留まらず、年間を通じてテレワークを推進し、地域活性化に取り組みます。第1弾企画として、株式会社東急シェアリングが、テレワークデイズのコア日である7月24日(水)にあわせて、タイムシェアリゾート「東急バケーションズ伊豆高原」などにおいて、ワーケーション体験イベントを実施し、伊豆急グループは同イベントの実施に協力します。

伊豆急ホールディングスおよび伊豆急行では、事務系社員を対象に、始業・終業時刻をライフサイクルに合わせ、3パターンの中から選択できるスライド勤務制度や、伊豆急下田駅構内へのサテライトオフィス設置、ワークビズの推奨など、多様な働き方の選択肢を提供しています。今後も、行政や企業と連携を高めていくとともに、自らも多様な働き方を実践していくことで、「住む」・「訪れる」場所としてだけでなく、「働く」場所として、伊豆エリアのさらなる魅力向上を目指します。

本取り組みの詳細は、別紙のとおりです。



▲「VacationOffice 伊豆高原駅」



▲「東急バケーションズ伊豆高原」



▲東急電鉄人事部門の、
ワーケーショントライアル時(2018年12月)

【別紙】

伊豆エリアにおける、テレワークの推進施策について

1. テレワークデイズ2019への参加

総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、内閣官房、内閣府が国民運動として展開するテレワークデイズ2019に賛同し参加します。

(1)実施団体:

伊豆急ホールディングス株式会社、伊豆急行株式会社、株式会社伊豆急ケーブルネットワーク

(2)応援団体:

伊豆急行株式会社、株式会社伊豆観光ホテル(ホテル伊豆急)、株式会社伊豆急コミュニティー(ルネッサ城ヶ崎、ルネッサ赤沢)

(3)特別協力団体:東京急行電鉄株式会社

2. サテライトシェアオフィスの開設

オフィスワーカーの出張やフリーランス、そして、地域にお住まいの方のワーク対応拠点を開設します。

(1)名称:「VacationOffice(バケーションオフィス)伊豆高原駅」

(2)営業開始日:2019年7月17日(水)から

(3)場所:伊豆高原駅 伊豆高原やまもプラザ内(駅直結改札外施設)

(4)営業時間:午前10時00分～午後4時30分まで

(利用受付は伊豆高原やまもプラザ内「駅カフェべるじゅ」にて行います)

(5)設備:ワーキングスペース(個室)8席、会議室1部屋(6席) Wi-Fi、コンセント完備

(6)利用金額:個室:3時間まで500円/人 3時間超1,000円/人

会議室:3時間まで1,000円/室 3時間超2,000円/室

※8月31日まではトライアル期間として、伊豆半島在住・在勤の方は上記金額の半額で個室をご利用いただけます。

(7)その他:東急電鉄が運営するサテライトシェアオフィス「NewWork」と提携し、同施設の会員は提携料金で利用することができます。

※この他、伊豆急下田駅構内には情報スペース「S-Oasis(エスオアシス)」があり、どなたでも無料でご利用いただけます(フリーWi-Fiあり)。

3. 「テレワークde伊豆」の推進

伊豆急行線沿線の各市町、観光協会・旅館組合のほか、ワークスペース事業者などと協力しながら、上記「テレワークデイズ2019」期間に留まらず、11月に実施される「テレワーク月間」を含め、1年を通じて「テレワークde伊豆」と称して、テレワークの推進を通じ、地域活性化に取り組みます。

4. ワークेशन体験イベント

「テレワークde伊豆」の第1弾企画として、株式会社東急シェアリングは、テレワークデイズのコア日である7月24日(水)にあわせて、伊豆高原でワークेशन体験イベントを実施します。伊豆急グループは同イベントの実施に協力します。

【参考】株式会社東急シェアリングについて

「居心地の良さをとことん追求した全国のリゾートを、楽しみたい分だけシェアリングする。」をコンセプトに、ゆったりとした広さが特徴のタイムシェアリゾートの企画、販売、運営を行っています。近年はオフィスでも自宅でもない場所で、余暇を楽しみながら仕事を進めるワークेशनに着目し、新しい働き方を提案します。

(1)実施日:2019年7月24日(水)～25日(木)

(2)場所:東急バケーションズ伊豆高原(東急シェアリング運営)、大田区立伊豆高原学園

(3)募集人員:40名

(4)応募要件:東急電鉄従業員は複数名のチームで参加

東急電鉄以外は個人参加可(ただし、4名以下の場合は相部屋)

(5)実施内容:

-1日目-

- ・トークセッション
- ・ワーケーション
- ・チームビルディングに関するアクティビティ(Team Building Cooking)

-2日目-

- ・ワーケーション
- ・レクリエーション(バーベキュー)など

※実施内容は変更になる場合がございます。

5. 伊豆急グループでの多様な働き方の実践

伊豆急ホールディングス株式会社および伊豆急行株式会社では、事務系社員約40人を対象に、多様な働き方の選択肢を提供しています。

(1)スライド勤務制度:

始業・終業時刻をライフサイクルに合わせ、8:25～、9:00～、9:40～の3パターンの中から選択し、勤務できる制度を2019年5月から本格導入しました。

(2)サテライトオフィス勤務:

2019年7月に伊豆急下田駅構内にサテライトオフィスを開設し、業務スケジュールなどに合わせて効率的に勤務できる環境を整え、通勤時間や移動時間の短縮を実現する制度を試行します。

(3)ウォークビズの推奨:

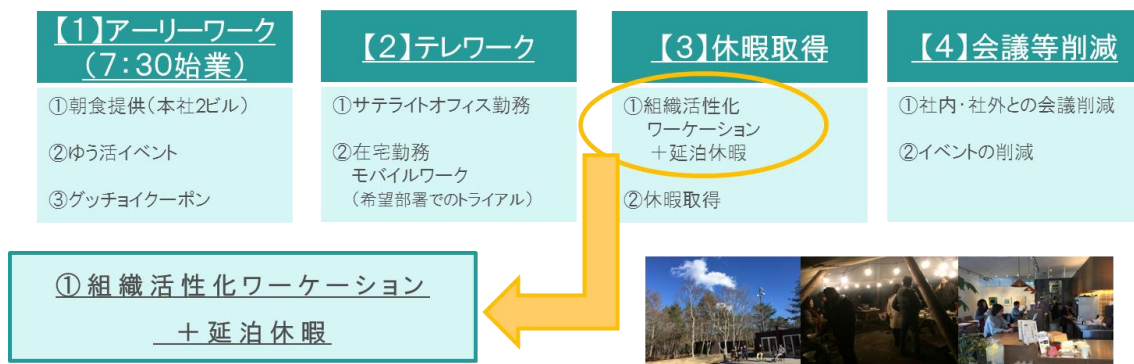
1年を通じて歩きやすい服装や靴で勤務する「ウォークビズ」を、2019年4月から推奨しています。最寄り駅まで、もしくはひと駅多く歩いたり、スタンディングデスクで勤務するなど、さまざまな工夫により毎日の運動量を増やすことで心と体が健康になり、スマートで快適なワークスタイルを実践します。

6. 東急電鉄連結各社でのスムーズビズに対する取り組み

東急電鉄だけでなく、東京都内に事業所を構える連結各社約40社が東京都の「時差Biz」「スムーズビズ」に参加登録しています。各社がスムーズビズに取り組みやすくなるよう、従業員のオフピーク通勤・テレワーク等の環境の整備の推奨をしております。

スムーズビズ期間の取り組みの一環として、東急電鉄では本社勤務員から今回の「テレワークde伊豆」のイベント参加者を公募します。組織活性化につながるワーケーションの意義を従業員自らが体験し、通年実施に向けた検討に繋がります。

(参考)東急電鉄のスムーズビズ期間の取り組み



●「組織活性化ワーケーション」の意義

- ・チームビルディング: 非日常空間でのコミュニケーションによる組織活性化
 - ・事業戦略合宿: リフレッシュした頭での柔軟な発想、集中的な議論
- 東急電鉄人材戦略室としては、複数名のチームで参加する「組織活性化ワーケーション」を推奨

以 上